

学校だより

[2025.01.01]

vol. 108



[02] 校長室の窓から

[03] 半年を振り返って

[04] [05]

キャリア支援室からの留意事項
就職活動・進学活動に向けて

[06] [07]

後輩たちへのアドバイス
就職・進学活動を終えて

[08] 1年生のインプレッション

[09] **3年生工場見学**

[10] [11]

国際交流活動報告



[12] 令和6年度 高専祭実施報告

[13] [14]

プロコン/ロボコン報告

[15] U-16プロコン報告

[16] **各種大会優秀者の報告/意見箱について**

校長室の窓から

「専門技術に加えDXマインドとグローバルマインドをもった学生の育成」

今年も学生たちが大いに活躍してくれています。中国地区高専体育大会では、バスケットボール女子、バドミントン男子、硬式テニス女子、柔道、陸上、剣道男子、水泳など多くの競技で優秀な成績を収めました。全国大会でも硬式テニス女子団体優勝、女子シングルス第3位、水泳女子50m自由形第2位、女子100m背泳ぎ第2位、陸上女子100m第1位、女子200m第2位など活躍しています。また、ロボコン中国地区大会では、決勝トーナメントに進出し、デザイン賞を受賞しました。プログラミングコンテストでも競技部門で決勝戦に進出しています。



▲中国地区高専ロボコン大会 デザイン賞を受賞

その他にも高専生とJICAが連携して、世界の課題解決に取り組むJICA/高専オープンイノベーションチャレンジに入賞しています。また宇部市高校生ビジネスプランコンテストにおいて、2年生のチームが優秀賞をいただいています。さらにはインターネット上の不正サイトを通報し、閉鎖させた件数を競う大会において、全国133チーム中2位の成績を収めました。アジア太平洋情報オリンピックでも銀メダルを受賞しています。

今年度の夏休みには62名の学生が海外留学し、発表会ではその成果を披露してくれました。得難い貴重な体験を通して、参加した学生たちの成長をまぶしく感じました。20名が日台カンファレンスに参加しました。来春にも17名程度の学生が海外留学されると聞いています。本校には現在12名の長期留学生と35名の短期留学生が在学しています。これらの留学生にも積極的に声をかけ、オンキャンパスでの国際交流を期待しています。



▲日台カンファレンス

本校では、社会の要請に対応し、数理・データサイエンス・AI教育を推進しています。文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」リテラシーレベルが令和5年度に認定され、応用基礎レベルも令和6年度～令和7年度の認定に向けて準備中です。また本年度、「令和6年度大学・高専機能強化支援事業（支援2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）」に選定されました。本事業により、本校の情報教育環境では、情報教育棟が新設されるなどさらに向上します。令和8年度から、電気工学科はこれまでの専門性に加えて情報系も主軸に備える学科に改組し、機械工学科及び物質工学科に情報系のコースを設置する計画です。これによりすべての学科でDX教育を充実できるようになりました。在校生についてもDX教育を充実しております。これまでの専門教育は堅持しつつ、DXマインドとグローバルマインドをもった学生を育成してまいります。

学生の時期は、成績や友人関係などさまざまなことで悩むことが多いと思います。悩むことはあたりまえのことです。自分で消化できないと少しでも感じたら、相談室などで必ず相談するようにしてください。最後に多くの学生が挨拶をしてくれてとてもうれしく思います。楽しい高専生活を送る上で、挨拶はするものという気持ちで、仮に相手の反応がなくても今後とも挨拶を継続してください。

宇部工業高等専門学校

校長 金寺 登

KANEDERA Noboru

半年を振り返って

校長補佐〔教務主事〕 碇 智徳
KAFU Tomohide



第4学期が始まり、今年度も残すところ数か月となりました。学生生活はコロナ禍以前に戻っていますが、今夏には学内においても一部で新型コロナウイルス感染症が拡がりました。今後も季節性インフルエンザの流行や気温の低下に伴う体調変化の可能性がございますので、体調管理には十分にお気をつけ頂ければと思います。

さて、今夏にお伝えしましたが、「令和6年度大学・高専機能強化支援事業(高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)」に選定されました。本事業により、令和8年度から、学科改組及びコース設置を計画しており、全学科において情報教育を充実し、これまで以上に地域と連携した地域密着型情報人材育成を推進し、高度な専門性と情報技術力を備えた人材を育成して参ります。また、昨年度に

は「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」リテラシーレベルの認定をうけ、その上位となる応用基礎レベルの認定に向けて準備を進めています(機械工学科と電気工学科は今年度に認定済)。

さらに、世界を舞台に活躍するためのグローバル教育や社会の変化に対応し新たな価値を創造するためのアントレプレナーシップ教育を進めております。グローバル教育では、今夏の語学・海外研修参加者数がコロナ禍以前と同様に戻り、多数の短期留学生の受け入れも活発であることから、学内外において多くの学生が異文化交流の機会を得ています。アントレプレナーシップ教育では、プロジェクト学習や地域教育などの機会を活用し、チームで課題解決に向かって挑戦した成果を様々なコンテストに申請し、発表する機会を得ています。

以上のような様々な機会を活用し、なりたい自分になれるように、健全で自発的な学びにより目標を達成してもらえるように努めて参ります。保護者の皆様におかれましても、お子様の活動を見守り頂き、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、何卒、よろしくお願ひ致します。

校長補佐〔学生主事〕 藤田 活秀
FUJITA Katsuhide



今年度の学校生活も半分を過ぎました。保護者の皆様には日頃より学生の活動にご支援を賜り、感謝致しております。

学生部では昨年に引き続き「学生会活動の活性化」をスローガンに活動を進めております。7月上旬に行われた中国地区高専体育大会では、団体2種目(女子バスケ・男子バドミントン)、個人5種目(陸上競技、水泳、柔道、剣道、硬式テニス)が全国大会の出場権を獲得しました。全国大会では、陸上競技と水泳でいずれも女子選手が優秀な成績を収めました。9月下旬に行われた高専ロボコン中国地区大会では、Aチームが決勝トーナメントに進出し、全国大会への出場は逃したもののデザイン賞を獲得しました。この他にも、宇都市高校生

ビジネスプランコンテストで優秀賞、フィッティングサイト摸滅チャレンジカップで全国団体2位、JICA/高専オープンイノベーションチャレンジで最優秀賞等、多くの学生が素晴らしい成績を収めています。このような活躍は宇部高専のホームページにも掲載されていますので、是非ご確認下さい。11月上旬に行われた高専祭においては、後援会と同窓会からはそれぞれ2張のテントのご寄付を賜りました。また、初めての試みとして学生会による前夜祭の企画、後援会の露店への出店、同窓会によるホームカミングデーの企画等、とても盛況で活気のある高専祭になりました。

学生部では、今年度は「厚生補導の強化」にも取り組んでおりますが、そのせいか学生の処分は現時点で2件と昨年に比べて大幅に少なくなっています。このまま処分の案件が出ないことを願っています。学校とご家庭で協力し合いながら学生たちを良い方向に導いていきたいと思いますので、保護者の皆様におかれましては引き続きのご支援・ご協力を宜しくお願ひ致します。

校長補佐〔寮務主事〕 荒川 正幹
ARAKAWA Masamoto



日頃より白鳥寮の運営に対するご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。寮訓である「自律・友愛・協調」の精神にもとづき、寮生の成長の場として相応しい学寮を維持するよう、引き続き寮の運営にあたっております。

コロナ禍は終わったものの、寮生の一部が新型コロナやインフルエンザなどに感染する状況が続いており、引き続き寮内における感染対策をお願いしているところです。万一、寮生が新型コロナやインフルエンザになってしまった場合は、基本的に帰省をお願いしています。送迎が難しいこともあるとは思いますが、ご理解とご協力をお願い致します。

白鳥寮では寮生による自治を目指した指導を行っています。自治の中心となるのは、寮生会の会長、副会長です。7月に寮生会の選挙が実施され、第63代会長として専攻科生産システム工学専攻1年杉山恭介くん、副会長として制御情報工学科4年川畠和樹くん、経営情報学科4年飛瀬乃々果さんが選出されました。1年間の任期中、色々と大変なこともあるとは思いますが、将来に向けていい経験になるはずですので精力的に頑張ってください。また、制御情報工学科4年尼崎くん、物質工学科4年杉村さん、機械工学科3年柿並くんをはじめとする前役員の皆さんには1年間お疲れ様でした。

一昨年度から実施していたE棟の改修工事が完了し、4月から綺麗になった建物で寮生が生活をはじめました。工事中は何かとご不便をお掛け致しました。今回の改修ではE棟1階の西側に、リビングや学習室など寮生が集まることのできる共用スペースが整備されました。友達同士での勉強会や寮生会が企画するイベントの実施などに有効利用してもらえばと思います。

就職活動・進学活動に向けて

本校で実施している5年間（専攻科の場合は2年間）のキャリア教育を示したものが下図となります。1～3年次ではキャリア教育に関する授業の中で、将来の目標設定とその振り返り、および自己分析を行います。4年次では自己分析により特性を知った上で自身を活かせる業種・職種や企業の調査を行い、5年次に就職活動や進学活動に臨みます。

進路決定について、特に4年生は冬休み中にご家庭内で十分に話し合う機会を設けてください。希望する進路をより確実なものにするためには、企業（競合企業も含む）や大学等の情報を早期に収集することが重要です。

本科1～3年次 将来の目標設定・自己分析



- 【1年次】
・キャリアカルテの作成
(中学までの振り返り、今後の高専生活を考える)
【2年次】
・キャリアカルテの振り返り
・女子学生のためのライフプラン
【3年次】
・職務適性テストの受検
・労働法制を知る
・履歴書の書き方を学ぶ
・インターンシップに向けての準備

本科4年次 専攻科1年次 自身を活かせる進路の検討



- 【4年次】
・一般常識テストの受検
・適性検査（SPIや玉手箱）対策

本科5年次 専攻科2年生次 進路決定・卒業後の準備



- 【5年次】
・企業人講話

●就職活動

4年生の年度末である3月より、実質的な活動（各企業の説明会等）が開始されます。そのため、4年生の12月頃までに希望企業を調査・研究し、2月末までに企業を絞り込む必要があります。

●進学活動

専攻科を含め多くの大学が5月以降に試験を実施します。進学を希望する学生は、4年生の夏休み前に志望大学・学科を決定できるようになると、余裕を持った活動ができます。TOEICの公式スコアを条件とするところもありますので、4年次末までに必要とするスコアを入手できるよう準備してください。

キャリア支援室長
一田 啓介
ICHIDA Keisuke

令和6年度の就職・進学活動は、新型コロナウイルス感染症が落ち着きを見せ、面接試験については大部分がWebから対面へ移行しました。とはいってもWeb面接を継続採用している企業もありますので、対面とWeb両方の面接に対応できるように練習を行う必要があります。キャリア支援室では、教育コーディネーターと対面・オンラインによる進路相談ができる環境を整えていますので、ご活用ください。

就職関係の指導は、主に各学科の就職担当教員が精力的に行っております。キャリア支援室では、就職・進学に関する様々な情報を提供しており、教育コーディネーターによる進路相談も受け付けています。進路にお悩みの場合は、各学科の就職担当教員や担任、キャリア支援室へお気軽にご相談ください。

キャリア支援室（資料コーナー：図書館棟1階食堂側入口横）には、HPだけでは得られない就職・進学に関する資料や、進路情報閲覧用のパソコンを置いています。また、本校Webサイト内にあるキャリア支援室の就職・進学情報（学内限定）、O B・O G等によるオンライン説明会、学内外における合同企業研究会等を積極的に活用し、有意義な情報収集を行ってください。

令和6年度 速報!

本科／専攻科就職・進学状況

2024年10月31日現在
就職内定先・進学内定先は50音順に表記
丸数字は内定者が複数いるときの人数

■機械工学科

求人会社数 **847社**
就職希望者数 **34人 (2)**
進学希望者数 **9人 (1)**
就職内定者数 **32人 (2)**
進学内定者数 **9人 (1)**
() は女子内数

【就職内定先】
宇部マテリアルズ(株)
キオクシアシステムズ(株)
サントリーポラタツ(株)
シャープ(株)
第一三共(株)
成田空港給油施設(株)
日本電子(株)
パナソニックエナジー(株)
森永乳業(株)

NOK(株)
キヤノンマーケティングジャパン(株)
JRCS(株)
西部電機(株)
ダイキン工業(株)
西日本旅客鉄道(株)
日本ビヨー(株)
富士電機(株)
山口スパル(株)

(株)科学情報システムズ
キリンビール(株)
JAS(株)
ソフトサービス(株)
トヨタ自動車九州(株)
日本精工(株)
パナソニックインダストリー(株)
三菱電機ビルソリューションズ(株)
UBEマシナリー(株)

■電気工学科

求人会社数 **875社**
就職希望者数 **31人 (2)**
進学希望者数 **8人 (1)**
就職内定者数 **29人 (2)**
進学内定者数 **7人 (1)**
() は女子内数

【就職内定先】
宇部高専専攻科⑤
豊橋技術科学大学

九州工業大学
三重大学

佐賀大学

■制御情報工学科

求人会社数 **812社**
就職希望者数 **35人 (9)**
進学希望者数 **7人 (2)**
就職内定者数 **35人 (9)**
進学内定者数 **7人 (2)**
() は女子内数

【就職内定先】
(株)アイ・エス・ピー
(株)インフォコム西日本
(株)NTTデータフロンティア
(株)クレスコ
サントリーポラタツ(株)
GMOリサーチ(株)
セイコーエプソン(株)
東芝ITサービス(株)
日本貨物鉄道(株)
(株)日立ハイシステム21
樹フライムゲート
安川オートメーション・ドライブ(株)

(株)エヌ・ティ・ティエムイー
(株)JERA
中国電力ネットワーク(株)
テルモ山口(株)
(株)中村電機設備
浜松ホトニクス(株)
三菱電機エンジニアリング(株)
(株)ヤナギヤ

関西電力(株)
新光産業(株)
中部電力(株)
電源開発(株)
パナソニックEWエンジニアリング(株)
(株)プライムゲート
三菱電機プラントエンジニアリング(株)
(株)LIXIL

九州工業大学

山口大学

■物質工学科

求人会社数 **603社**
就職希望者数 **24人 (21)**
進学希望者数 **15人 (8)**
就職内定者数 **24人 (21)**
進学内定者数 **11人 (5)**
() は女子内数

【就職内定先】
アストラゼネカ(株)
大阪シーリング印刷(株)
協和キリン(株)
沢井製薬(株)
第一三共(株)
武田薬品工業(株)
(株)日本触媒
UBE(株)

(株)アリファシステムズ
(株)大阪防水建設社
(株)クボタ
サンリーポート(株)
第一三共バイオテック(株)
東京都下水道サービス(株)
ネクステージングループホールディングス(株)
ライオン(株)

エスケーハイ研(株)
(株)近畿分析センター
国立印刷局
千寿製薬(株)
太陽ファルマテック(株)
(株)トクヤマ
(株)日立社会情報サービス
理研ビタミン(株)

九州工業大学
長岡技術科学大学

筑波大学
豊橋大学

■経営情報学科

求人会社数 **625社**
就職希望者数 **34人 (29)**
進学希望者数 **7人 (4)**
就職内定者数 **34人 (29)**
進学内定者数 **7人 (4)**
() は女子内数

【就職内定先】
(株)アイ・エス・ピー
NECネットエスアイ(株)
京セラコミュニケーションシステム(株)
コベルコソフトサービス(株)

アイテック阪急阪神(株)
NECフィールディング(株)
国立印刷局(2)
島津ブレジジョンテクノロジー(株)
太平洋テリアル(株)
(株)日本コンピュータ開発
パナソニックコネクト(株)
(株)日立ハイテクフィールディング
(株)ヤナギヤ
横河ソリューションサービス(株)
ローム・アボウ(株)

(株)あじかん
(株)NTTデータSBC
コニカミノルタジャパン(株)
ソフトバンク(株)
東京ガスネットワーク(株)
(株)ニュージャパンナレッジ
(株)日立システムズ
ビー・ビーシステムズ(株)
(株)山口フィナンシャルグループ
(株)LIXIL

岡山大学
長岡技術科学大学

東京科学大学
山口大学②

■生産システム工学専攻

求人会社数 **747社**
就職希望者数 **18人 (0)**
進学希望者数 **7人 (0)**
就職内定者数 **18人 (0)**
進学内定者数 **7人 (0)**
() は女子内数

【就職内定先】
(株)オムロンフィールドエンジニアリング(株)
(株)京都製作所
JFEプラントエンジ(株)
ティサ産業(株)
TOTOバスクリエイト(株)
東洋電機製造(株)
浜松ホトニクス(株)
フジテック(株)
樹リソーム

アイテック阪急阪神(株)
京セラコミュニケーションシステム(株)
(株)KUNO
ダイキン工業(株)
東京都下水道サービス(株)
東洋銅板(株)
日本原子力発電(株)
(株)日立情報通信エンジニアリング
UBE(株)

【就職内定先】
伊藤忠テクノソリューションズ(株)
UBE(株)

九州大学
滋賀大学

■物質工学専攻

求人会社数 **503社**
就職希望者数 **2人 (1)**
進学希望者数 **1人 (0)**
就職内定者数 **2人 (1)**
進学内定者数 **0人 (0)**
() は女子内数

【就職内定先】

(株)宇部情報システム
京セラコミュニケーションシステム(株)
TOPPAN(株)
マツダ(株)

【就職内定先】
九州大学大学院②
九州工業大学大学院③
長岡技術科学大学大学院
広島大学大学院

() は女子内数

就職編

私は、この度 Japan advanced semiconductor manufacturing (JASM) 株式会社に内定をいただきました。JASMIは台湾のTSMCが主に出資し、熊本県に設立した半導体産業を支える巨大企業です。内定を勝ち取るために力を入れたことを紹介します。

JASMの合同企業説明会は熊本県のみで開催されていたため、そちらに出席し積極的に情報収集しました。その後、オンラインの会社説明会と選考準備セミナーに参加し面接に臨みました。面接は英語で行われ、自己紹介はパワーポイントを使ったプレゼン形式でした。また、志望動機や趣味特技など履歴書やエントリーシート記載事項に対する質疑応答も英語でなされました。自分は、自己紹介のためのパワーポイント資料の作成に時間を割き、プレゼンテーションも含めた綿密な用意をしました。また、当企業の過去の面接傾向を調査し、質問に対しどう答えるべきか研究をし尽くした上で本番に挑みました。

人々、英語でのコミュニケーションが得意な訳ではありませんでしたが、用意周到に準備を行った結果、自信を持って面接を受けることができ採用していただくことができました。

私はこの度、中国電力ネットワーク株式会社様から内定をいただきました。ここでは、私が就職活動の中で大事だと思ったことを紹介させていただきます。

まず、会社のことをよく調べておくことです。私は学校で行われる企業説明会や夏季インターンシップに参加しました。就職したい会社がどんなことをしているかを理解することで、会社関連の質問にスムーズに回答することができます。また、面接で役に立つだけでなく、自分が本当に就職したいのか再確認する機会にもなるので、ぜひやってみてください。

次に、面接の練習を数多くこなすことです。面接が行われる前にエントリーシートを提出しますが、その内容を暗記するだけでなく、自分が伝えたいことをしっかりと頭に入れておくことが大切です。最初は言葉が詰まってしまうこともありますが、先生や家族、友人に手伝ってもらうことで少しずつ上達しました。周りの人たちに頼ることが面接攻略の一一番の近道だと思います。

最後に、自信を持って就職活動ができるように早めに準備を始め、良い結果を出せるように精一杯頑張ってください。

私はこの度、メタウォーター株式会社から内定をいただきました。就職活動を通して大切だと感じたことを2つ紹介します。

1つ目は、自己分析をすることです。自分にとって大事なものは何か、自分は将来何をしたいのかなど、自分を知ることで人生の軸が決まると思います。人生の軸が決まることで自分が企業に求めるものがわかり、企業選びに役立ちます。自分が何をしたいのかよくわからないという人はぜひ合同企業説明会やインターンシップに参加して企業や業種を知り、将来について考える機会を増やすと良いと思います。

2つ目は、エピソード作りです。面接でガクチカ（学生時代に力を入れたこと）や長所について聞かれた時に、結論だけでなく、それを裏付けするエピソードがあると説得力が増し、効果的な自己アピールすることができます。そのためには部活動に一生懸命取り組んだり、学内外の行事に積極的に参加したりして就活に向けてエピソードを溜めておくことが重要です。

最後になりますが、このアドバイスが少しでも後輩の皆さんへの助けになれば幸いです。



機械工学科
5年
中川至誠



物質工学科
5年
小川真奈



電気工学科
5年
中尾 亮



経営情報学科
5年
藤村純也



制御情報工学科
5年
上村月乃



経営情報工学
専攻
2年
水本歩那

この度、アストラゼネカ株式会社から内定をいただきました。英国に本拠地を置くグローバルバイオ医薬品企業で、多くの医薬品とワクチンを世界に提供しています。私も、そんな企業の一員として働きたいと思い、就職活動を行いました。

活動を通して「やっておいてよかった」のは、OB・OG訪問です。企業研究は説明会やウェブサイト閲覧など様々ですが、OB・OG訪問では、実際に働いている方から直接話を伺えます。企業の雰囲気や取り組みを深く理解でき、入社後のイメージも明確になります。

私は、アストラゼネカの宇部高専出身の先輩に話を伺いました。社内の雰囲気や働き方を教えていただき、就職先を決める上で大きな決め手となりました。

OB・OG訪問で得た情報は、履歴書作成や面接対策にも役立ちました。面接では、企業の取り組みと自身の強みを関連付けてアピールし、熱意を効果的に伝えられたと感じています。

就職活動を通して、積極的に行動することの大切さを実感しました。自ら情報収集し、行動することで、自分に合った企業を見つかると思います。

私はこの度、NECフィールディング株式会社から内定をいただきました。就職活動を通して大切だったと思うことを2つ紹介します。

1つ目は、自己分析を早めに行うことです。自分の強みや興味、どんな仕事に就きたいかなど、自己分析は就職活動の基盤になると思います。早めに自己分析を行い、自分なりの軸を持つことができれば、4年生でのインターンシップや企業説明会などにしっかりと目的を持って参加できます。その後の企業選びやエントリーシート作成、面接練習においてもスムーズに進められると思います。

2つ目は、周りの人に頼ることです。就職活動を進める中で、行き詰ることが必ずあると思います。自分1人で考えられることにも限界があるため、不安や悩みがあれば、先生や家族、友達に頼ることで、問題が解決したり、新たな視点を得られたりします。

最後になりますが、悔いの残らないように自分のベストを尽くして頑張ってください。

私はこの度、TOPPAN株式会社から内定をいただきました。つきましては、私が就職活動をするうえでやっておいて良かったことを紹介させていただきます。

まず、早くから企業や就活に関する情報を集めることです。幅広く企業や業界を知ることで、自分に合った選択肢が見えてきます。私は、学科の先生方や両親、社会人の先輩から話を聞き、興味を持った企業の1DAYインターンシップに積極的に参加しました。その経験を通じて、企業の実情を知ることができ、自分が納得できる企業選びにつなげることができました。また、自身がこれから何をするべきかを明確にすることもできました。

次に、即座に考えて、それを正確に伝える力を鍛えることです。自己分析を通じて自分を理解し、それを面接やエントリーシートで適切に表現できると、大きな武器になります。また、もし面接時に、予想していなかった質問をされても慌てず落ち着いて対応できます。

長くなりましたが、皆さんのが悔いのない就職活動を行えるよう、心から応援しています。

アドバイス

活動を終えて～

進学編

私は来年から専攻科に進学します。専攻科を志望した理由は、幅広い専門知識を身につけ、広い視点を持つ技術者になりたいと考えたからです。将来、設計や開発に携わりたいと考えており専攻科では機械科だけでなく電気科や制御情報科の知識も学べる点に魅力を感じ、4年生の頃から自指しました。そこからは推薦入試を目指しつつ一般入試にも備えて専門科目や数学、TOEICの対策を進めました。中でも英語は得意ではありませんでしたが、時間をかけた対策の結果、受験までに成果を出すことができました。5年生では推薦入試に向けた志願理由書を教授に何度も見せてもらいました。完成後は友人や教授と面接練習を繰り返しました。そのおかげで当日は落ち着いて面接に臨むことができ、無事合格を果たしました。この合格は、私一人の力だけではなく、多くの方々の協力があったからこそ得られたものだと思っています。協力してくれた教授や友人には深く感謝しており、その恩に報いるためにも専攻科でさらに努力を重ね、より高い目標に挑戦していきたいと考えています。



機械工学科
5年
川崎雄大

私は九州工業大学工学部電気電子工学科電子システム工学コースに3年次編入します。私は4年生までは、ロボットの製作に関する会社に就職することを目標にしてきました。しかし、授業や課外活動などで経験を積んでいく中で、目標を達成するために今以上に電子回路や電子システムなどへの学びを深める必要を感じ進学することを決意しました。

私が進学に向けて行った対策は、主に口頭試問に向けたものです。具体的には、先生や友達の前で出題される科目の問題を板書しながら解く練習を行いました。

私が進学活動において重要なことは志望する大学の情報をしっかりと集めることです。大学によって試験の形式や受験科目、受験要件などが異なってきます。学年ごとの順位であったり、TOEICの点数であったり4年の進路調査の段階で初めて知ったのでは手遅れになる場合もあります。また、高専の授業では習わなかった範囲の内容が出る場合もあります。そのため、過去に受験した方の体験談や大学が公開している過去問を見て出題される内容を把握しておいたほうが良いです。早めに情報を集めて試験対策を行うことをお勧めします。



電気工学科
5年
山田倫弘

私は筑波大学 情報メディア創生学類に編入学します。

私は2年次で参加した企業研究会をきっかけに、自身の関心を見つめ直し、進学を志しました。進路について考えるきっかけという意味でも、早めに参加することをおすすめします。

受験対策は4年次の4月から始めました。授業をしっかりと理解しておくことで、最低限の復習で問題演習に取り掛かることが出来ます。また、授業で扱わなければならない範囲を出題する大学も多いため、出題傾向をしっかりと調査し、余裕を持って対策を始めたほうが良いと思います。

また、TOEICスコアを要求する大学は多いですし、高いスコアは面接等におけるアピールポイントにもなります。しかし、TOEIC対策を受験勉強と同時にやるのは大変です。余裕を持って対策を始め、3年夏以降を目標に、早めに受験することをおすすめします。

最後に、私は受験体験記を公開しています。お読みいただければ幸いです。

watasuke.net/blog/article/what-i-did-for-univ3rd-transfer

東京工業大学（現 東京科学大学）生命理工学院の編入学試験は、面接と口頭試問でした。「私を取らないで逆に誰を取るの？」という強い気持ちで面接に臨み、面接官の目を見ながら、ハキハキと笑顔で答えるよう心がけました。

受験1年前には大学を訪問し、研究内容や課外活動について調べ、入学後の具体的なイメージを掴み、それを自分の言葉で語るようにしました。志望研究室の論文を読み込み、専門分野への理解を深め、面接で熱意を伝えられるよう準備しました。

高専生活で力を入れた留学や卒業研究、学会発表、国際交流活動についても触れ、これらの経験から得られた主体性や協調性をアピールしました。多様な経験を通して成長できたと感じています。

2年次の冬に編入学を決意してからは、常に成績上位を維持できるよう努力しました。4年次の夏からは、ZENPENで過去問を分析し、試験対策に励みました。

受験を通して、好奇心と挑戦する姿勢の大切さを実感しました。積極的に行動することで、視野が広がり、成長に繋がると確信しています。



物質工学科
5年
堀部有希

私は九州大学経済学部経済工学科に3年次編入学する予定です。試験は推薦で受験し、事前に提出した志願理由書や成績証明書をもとにした面接試験がありました。

進学活動を含めた学校生活では、「将来何に取り組みたいのか？」を明確にした上で行動することで、自然と取り組むべきことが見えてきます。私の場合、高専での研究をより専門的に突き詰めたいと考え、海外の事例や論文を読むために必要な英語能力（TOEIC）や、研究で扱う専門知識（情報系資格）などを身につける努力をしました。また優の割合が推薦要件としてあったので、試験だけでなく日々の提出物も怠らないように意識しました。

高専からの進学は個人戦となり、特に大学進学となれば時期が遅く、周りの学生が既に就職活動などを終えて進路が決定した状況の中での試験準備となり、焦りや不安を強く感じると思いますが、1人で抱え込まずに先生方や友人家族などに相談することで、自信を持って受験に挑むことができます。今後の進学活動にこのアドバイスが役立てば幸いです。応援しています。



経営情報学科
5年
小田太陽

私は、広島大学大学院先進理工系科学研究科に進学します。

大学院進学の場合は、自身の興味にあった研究室を軸に大学院を選択することになります。そのため、興味のある研究分野及び研究内容を把握し、それに当てはまる研究室へ実際に訪問することをお勧めします。研究室の雰囲気や活動状況を知ることができ、ミスマッチを回避することに繋がります。可能であれば、実際にその研究室で研究活動をするインターンシップに参加するのもいいかもしれません。

進学活動において、早めの段階で能動的に行動することが大切です。私は学会発表への積極的な参加をお勧めします。部活動や国際交流などの課外活動も素晴らしい実績ですが、研究に重きを置く大学院へ進学する場合、学外発表の実績は大きなアドバンテージとなるはずです。また、受験の際はTOEICのスコアが必要なので、英語も欠かさず勉強しましょう。

最後になりますが、後輩の皆さんに様々な活動に積極的に参加することで、充実した高専生活を送るとともに納得のいく進路を歩めるよう応援しています。



生産システム工学
専攻
2年
杉山宏一

1年生のインプレッション ～半年を迎えて～

時間が流れるのはあっという間で、気づいた時には入学して半年が経っていました。高専生活は忙しい日々が続くと聞いており、大きな不安を感じていたのですが、入学以前に想像していた不安は感じておらず、メリハリのある有意義な高専生活が送っていると思います。確かに忙しくはあるのですが、昼休みには新たにできた友達と食事をしたり、遊んだり、時にはわからない問題を教えて、放課後にはクラブ活動で他学科の友人や先輩と関わりながら、楽しく過ごしています。

高専のクラブ活動は比較的自由な面が多く、兼部が認められている部活が多くあります。そのため私は、写真部やハンドボール部、弓道部、オーディオ部を兼部しています。私はやりたいことが多いので、兼部できることは非常に嬉しい、毎日を楽しく過ごすことができています。

これからも勉強するときは集中して取り組み、楽しむときは全力で楽しむ、メリハリのある高専生活を続けていこうと思います。

高専に入学して半年が経ち、学校生活や勉強などにも慣れてきました。

私が入学して思ったことは校風が自由ということです。中学校よりも校則が自由なので自分で考えて行動する機会が増えました。そのため、主体性や責任感が身についたと思います。

今頑張っていることはアルバイトと勉強です。アルバイトではお金を稼ぐ大変さや人間関係の大変さなどを実感しました。就職してからの人間関係の構築や自分のやりたいことを実現するため、アルバイトをこれからも頑張っていきたいです。

勉強では分からないところを友達と話し合って理解し合う機会が増えました。これから友達と切磋琢磨しながら資格勉強をしていきたいです。

あと4年間の高専生活ですが、物事を極め挑戦することに専念して頑張っていきたいです。



機械工学科
1年
山城 権

私は入学した当初、分からぬことだらけで不安や心配を抱えていました。

学校生活が始まり半年がたった今、一番印象に残っているのは勉強です。中学校のときよりも、1回の授業で学ぶ量が多く内容も難しいため、確実に理解していくことがとても大変だと感じました。小テストは毎週のようにあり、レポートも簡単には終わらないものがよく課されるので大変です。しかし、一つ一つ丁寧に学習することを心がけて頑張っています。

行事のクラスマッチや高専祭も先輩の活気で満ちており印象に残っています。クラスマッチでは色々な競技があり驚きました。高専祭では、先輩の熱意に圧倒されました。先輩や先生がとても楽しそうだったので、初めは緊張していた私もその穏やかな雰囲気につられて楽しいひと時を過ごすことができました。

私は高専の自由な雰囲気の中で、充実した学校生活を送ることができます。



制御情報工学科
1年
上田侑資



電気工学科
1年
磯金歩己

宇部高専に入学して半年が経ち、忙しい毎日にもなれて、私はいま充実した高専ライフを送っています。私は中学生の頃、自ら進んで物事を始めるということを避けていました。しかし宇部高専に入学し、その日に出された課題をすぐにやる、レポートを期限よりも早く終わらせる等のやらなければいけないことを、順位づけて早期に対処できるようになりました。特に物質工学科では、実験のレポートを提出しなければなりません。それを友人と協力しながら進めていくことで、レベルを高め合い信頼関係を深めることができました。

私は、実際に高専生になって、クラスメイト一人一人が個性豊かで、自分の個性をより出せる環境に驚きました。私はその環境だからこそ楽しさがあると感じております。

この先も高専という環境で、自分の技術をよりレベルアップさせ、なりたい未来に向かって日々励んでいきたいと思います。



物質工学科
1年
和田凌駿

私は留学を通して国際的に活躍できる人になりたい、宇部高専でしか出来ないことをたくさん経験したいと思い入学しました。入学してから早半年が経ち、時間の経過はあっという間だと実感しています。大変なことも沢山ありますが、毎日楽しく充実した日々を送っています。特にシンガポールへの留学は貴重な経験となり、異文化に触れることで視野が広がりました。また、現地の学生との交流や授業を通じて、語学力が向上したと実感しています。このような宇部高専の特徴的な取組は、私にとってとても有意義なものとなっています。これらの経験や能力は将来就職や進学するときに大きな武器になると考えています。

自分をアピールするための強みを増やすために、これから積極的な国際交流への参加をはじめ、秘書検定や簿記、ITパスポートなどの資格取得にも挑戦していきたいです。この半年で得た貴重な経験を糧にこれからも学びを続け、理想像に向かって邁進していきます。



経営情報学科
1年
谷村心寧

3年生 工場見学研修

機械工学科



東芝ITサービス株式会社



東亞石油株式会社

[1日目]

東芝ITサービス株式会社、
JFEスチール株式会社東日本製鉄所

[2日目]

株式会社 東京エネシス

[3日目]

東亞石油株式会社、
日本科学未来館

電気工学科



ANA機体整備工場



三菱電機ビルソリューションズ株式会社 教育センター

[1日目]

ANA機体整備工場、
(株)JERA 川崎火力発電所

[2日目]

不二製油(株)千葉工場、
班別自主研修

[3日目]

三菱電機ビルソリューションズ
株式会社 教育センター、
(株)TMEIC 府中事業所

制御情報工学科



花王株式会社 川崎工場



KDDI エンジニアリング株式会社

[1日目]

ANA 機体工場、
花王株式会社 川崎工場

[2日目]

三菱電機ビルソリューションズ
株式会社 教育センター

[3日目]

KDDI エンジニアリング株式会社、
KDDI ミュージアム、
日本科学未来館

物質工学科



日清オイリオグループ株式会社



JAXA(宇宙航空研究開発機構)

[1日目]

国立科学博物館、
株式会社 Hundred Semiconductors

[2日目]

株式会社 ファンケル健美、
日清オイリオグループ株式会社

[3日目]

JAXA筑波宇宙センター、
CYBERDYNE STUDIO



経営情報学科



カップヌードルミュージアム大飯池田



理化学研究所計算科学研究センター

[1日目]

カップヌードルミュージアム大阪池田

[2日目]

パナソニックミュージアム

[3日目]

理化学研究所計算科学研究センター、
人と防災未来センター

2024年10月9日(水)～11日(金)



国際交流活動報告



令和6年度は夏季海外研修等への学生派遣、短期留学生受入、U-Campなどを通じて、学生の語学力向上、異文化理解、協働力を育む国際交流活動を展開しました。これらの取り組みにより、学生たちは世界に挑戦する姿勢や国際社会で必要な実践力を身につけています。今後も、国際的な学びの場を広げ、学生がグローバルに活躍できる力を育んでいきます。

Report

01. 夏季学生派遣

①日台国際カンファレンス

7月14日～15日、国立聯合大学（台湾）において開催された第7回NIT-NUU日台国際カンファレンスで学生20名が14件の発表を行いました。発表や質疑応答を通じ、専門的な議論や英語での発表力を磨くとともに、異なる文化圏の学生と交流をする機会となりました。



▲参加した高専生が大集合



▲ポスター発表

②夏季語学研修・海外研修・専攻科海外インターンシップ

夏季語学研修・海外研修・専攻科海外インターンシップに合わせて57名の学生が参加しました。語学研修では、オーストラリア、シンガポール、台湾で語学力や異文化理解力を高めました。

また、海外研修・専攻科海外インターンシップは台湾、韓国、マレーシア、シンガポール、ベトナムで実施し、英語を通じて専門分野の学びを深めました。



▲ナンヤンポリテクニック海外研修



▲ニューカッスル大学語学研修



▲マラ工科大学海外研修
手前の学生は昨年度本校に来校していた
短期留学生のニーサさん（三谷研究室受入）と
ワイナさん（後藤研究室受入）

③トビタテ！留学JAPAN 高校生コース

今年度は、「トビタテ！留学JAPAN高校生コース」に5名が採択されました。AI技術や無人店舗調査といった各自の探究テーマに基づいてアメリカ、シンガポール、オーストラリア、フィリピン、エストニアで学びを深めました。



▲アメリカでAI技術を学びました

02. 短期留学生受入

短期留学生受入による「キャンパスのグローバル化」は宇部高専の国際交流の特徴的な活動の一つです。今年度も年間を通じた短期留学生の受入を積極的に行い、語学力向上や異文化理解を目的としたキャンパスや寮での交流活動を行っています。

今年度は前期の国立聯合大学および文藻外語大学（台湾）からの短期留学生14名の受入に引き続き、10月から、ナンヤンポリテクニック（シンガポール）から4名、マラ工科大学（マレーシア）から7名が来校し、本校の研究室で卒研生・専攻科生と研究に取り組みました。また、文藻外語大学から来校した4名は2月末まで英語・中国語の教育実習を行っています。

加えて、ベトナム工商短期大学およびカオタニ技術短期大学から6名の学生が12月に1週間来校し、日本の産業文化を学ぶとともに、合同企業研究会に参加しました。

短期留学生は、放課後や休日には学生主体で企画したイベントにも参加しており、日本人学生と幅広く交流を深めています。



▲異文化体験ツアー in 宮島



▲令和6年度白鳥祭・寮祭

03. U-Camp (1週間)

12月9日(月)～13日(金)の放課後および12月14日(土)～15日(日)を利用して、U-Camp (ユーキャンプ) を開催しました。短期留学生と日本人学生が協働し、学術発表やPBL (Project Based Learning) を通じて国際的な視野と実践力を育みました。

12月9日(月): U-Campキックオフ

開会式でU-Campの概要が説明されました。また、PBLの課題提供元企業である株式会社宇部スチール(以下、宇部スチール)様からPBLで取り組むテーマが英語で発表され、PBLのグループ分けも行いました。

各チームはメンバーと顔合わせを行い、週末のPBLに向けた準備を開始しました。



▲PBLで取り組むテーマ発表

12月11日(水): グローバル講演会

ベトナム工商短期大学からPHAM THI THUY (トゥイ)先生、カオタン技術短期大学からNGUYEN NGOC THONG (グエン)先生を講師として招き、ベトナムの工学分野の研究や教育について講演が行われました。また、ベトナム工商短期大学およびカオタン技術短期大学から来校中の学生6名との交流会も実施しました。



▲講演終了後の記念写真

12月13日(金): U-Camp International Conference

宇部高専初の試みとなるU-Camp International Conferenceを開催しました。

シンガポールやマレーシアの留学生および海外研修や専攻科海外インターンシップ、日台国際カンファレンスに参加した学生が、口頭発表16件、ポスター発表42件を披露しました。活発な質疑応答が交わされ、優秀な発表を表彰しました。



▲学生によるポスター発表

What is U-Camp?

U-Campとは、Ube-Campの略称で、今年度初めて実施した取り組みです。日本にいながら世界に触れる機会を提供することを目的として、学生が主体となって短期・長期留学生と日本人学生による研究発表を通じた学術交流、PBLイベントの企画・運営をしました。また、普段開催している異文化交流アクティビティ「ニーハロ」を特別版で実施しました。広く学内から参加者を募集し、国際交流イベントに触れる機会の少ない学生が交流できる場を設けました。

12月10日(火): ニーハロ English in U-Camp

留学生・日本人学生混合のグループ活動を実施し、英語でコミュニケーションを図りながら、各国のゲームやアクティビティ、ジュース作りに取り組みました。

ジュース作りでは、各チームが留学生出身国ゆかりのフルーツを使い、協力して美味しいジュースを作ることを目指しました。作ったジュースについては見た目や味のコンテストも行われ、大いに盛り上がりました。



▲ドラゴンフルーツを使ったジュース作り

12月12日(木): ニーハロ Japanese in U-Camp

シンガポール、マレーシア、台湾、日本の代表的な料理を留学生と日本人学生が協力して作りました。また、ベトナムの学生からは同国のお菓子の提供があり、食を通じた異文化理解を深めました。



▲シンガポールの伝統料理
海南チキンライス作り



◀マレーシアのお菓子
ビサン・ゴレン(揚げバナナ)
を作りました

12月14日(土)～12月15日(日): PBL (課題解決型学習)

宇部スチールから提供されたPBLテーマについて、留学生・日本人学生混合チームで課題解決策を考案し、最終発表で提案を行いました。SWOT分析やビジネスモデルを用い、問題解決力やプレゼン力を養いました。優れた提案に対しては、宇部スチールから最優秀賞・優秀賞・アイディア賞が授与されました。



▲チームで課題解決策を考案



▲最終発表で提案

▶2024.11.09sat-10sun

▶テーマ「YOISYO！」

令和6年度「高専祭」実施の報告



今年の高専祭は11月9日(土)と11月10日(日)に開催されました。今年のテーマは「YOISYO！」で、宇部高専全体で心をひとつにし、力強く、勢いよく高専祭2024を盛り上げようという思いが込められています。

4月から11月までの準備期間中、教職員の皆様、学生課の皆様、実行委員のメンバーなど多くの方々のご支援のおかげで、学生はもちろん、一般的の皆様にも楽しんでいただける高専祭を実現することができました。当日は、メインステージでの各種企画、多彩な展示や工学実験、バンドによる演奏やダンスショーなどたくさんの催し物がありました。ご来場の皆様には、学生たちの生き生きとした姿と宇部高専の雰囲気を感じていただけたと思います。また、今年は不正防止対策を徹底し、公平性を大切にしながら開催できることを大変嬉しく思っています。

来年度もさらに素晴らしい高専祭となることを願っております。最後に、協賛いただいた企業の皆様をはじめ、高専祭に関わってくださった全ての皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

▶Message from 実行委員長
第61回 高専祭実行委員長 込山裕登





Programming Contest 2020 プログラミングコンテスト 全国大会

課題部門

Title

Member

クラスde ECOウォッチー環境教育支援システム

制御情報工学科 5年 村谷 稔
制御情報工学科 4年 中野 晃聖
制御情報工学科 2年 木村 友亮

今年は高専プロコン課題部門にて、「ICTを活用した環境問題の解決」をテーマに、作品の制作やプレゼンテーション、デモンストレーションを行いました。

私たちのチームは、「クラスde Ecoウォッチ」という環境教育支援システムを開発しました。このシステムは、教室内のデバイスとアプリを活用し、CO2削減につながる行動を記録することで、自分の行動が環境問題にどのような影響を与えるのかを可視化できるものです。コンテスト当日までに何度もブラッシュアップを重ね、プレゼンテーションやデモンストレーションは全体的に良い形で進められたと思います。

しかし、結果として賞を受賞することはできませんでした。それでも、チーム開発やプレゼンテーション、デモンストレーションといった、これからの活動において重要なスキルを多く習得する貴重な経験となりました。

この経験を糧に、来年はさらに良い作品を作れるよう努力していきます。これらの活動を進めるにあたり、多くの方々の支えがあったことに、心より感謝申し上げます。引き続き応援いただけますと幸いです。



▲展示会場での記念写真



▲デモンストレーションの様子

競技部門

Member

電気工学科 3年 山本 健一朗
電気工学科 3年 池本 悠生
制御情報工学科 1年 井藤 誉晴

今年の高専プロコン競技部門競技部門は、「シン・よみがえれ世界遺産」をテーマに、与えられた盤面に対して指定の操作を行い、最終盤面にするまでの手数と早さを競いました。

私たちのチームは、複数の手順を同時に探し、一度にすべての手順を考えるのではなく、手順を絞り込むことで効率よく最適な手順を探すプログラムを作成しました。手順を探るPCを2台用意し、回答送信用のPCは別に用意して大会に臨みました。

1回戦では1位、準決勝は2位で通過することができましたが、決勝戦直前に不具合が発生し、修正も間に合わず、決勝戦最下位と悔いの残る結果となりました。

受賞には至りませんでしたが、多くの高専生との交流を通じて、チーム開発における多くの学びを得ることができました。この経験を活かし、来年に向けてさらに精進していきたいと思います。

最後に、これまで私たちを支えてくださったすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



▲競技の様子



▲会場での記念写真



アイデア対決

Robot Contest 2024

ロボットコンテスト 中國地区大会

新しい宇部高専のロボコン～地区大会を終えて～

今年度から顧問体制が新しくなり、高専ロボコン地区大会に向けて強化を目指し、昨年度までの状況調査結果から改善のために、今年度はじめから学内アイデアコンペ、ロボット試走会、ロボット公開、ロボコン報告会、安全研修会、メーカー技術研修会、学生同士での研修会など新しい取り組みを試行的に行いました。部長などの学生の中での上下関係をなくし、学生同士をフラットにして活発な発言などができるようにして、ものづくり工房の安全化と見える化も進めて学生がものづくりを安全に安心して取り組める環境構築を進めました。これらは顕著に効果が現れ、これまで宇部高専ではなかった高い完成度のロボットに仕上げることができました。学生達のものづくりへの熱い気持ちをそのまま実践できる環境により、思う存分にものづくりに夢中になれたことが要因であると考えています。試走会などの工程を唯一達成してきた代表チームであるAチームは地区大会で決勝トーナメントに進出しへスト4となり、地区大会の3賞の1つであるデザイン賞を受賞しました。今後の宇部高専のロボコンにご期待ください。

Aチーム

Robot Name ヒクイドリ

Member

機械工学科 2年 内山 智真
機械工学科 3年 佐郷 淳太朗

地区大会ベスト4・デザイン賞受賞!!



昨年までは、宇部高専のロボットは決して強くありませんでした。設計段階からつまずいていたり、大会前に急に壊れて大幅に仕様を変更せざるを得なくなったりしました。しかし、今年のロボットはここ数年の宇部高専のロボットとは比べ物にならないほど強さがありました。今年は強力なキックをするヒクイドリの親鳥、雛鳥、卵のロボットです。着地点は高得点を安定して取れるようになり、ロボ2もボールを戻すことも難しくはない状況でした。安定した着地点獲得で地区大会ベスト4までいけました。来年こそはもっと完成度を上げて、全国大会に出場できればと思います。

今回のロボコンを終えて学んだことが主に3つあります。まず、実際にロボットを動かすこと、2つ目は本番でのトラブルの対策を事前準備すること、3つ目は大舞台でも緊張しきりないことです。これら学んだことを意識して次も頑張りたいです。デザイン賞が取れたこともとても嬉しかったです。

Bチーム

Robot Name ロボパルト

Member

機械工学科 4年 三牧 権成
機械工学科 4年 秦泉寺 佑真電気工学科 4年 藤村 海人
電気工学科 2年 玉村 知大

ロボコンを終えて、ロボコンの当日までに作品を完成させることができなかったので、計画的に製作していくなければならないことを学びました。少ない人数の製作で予定通りに活動できませんでした。解決するためには、最初に多くのロボット案からベストなロボットを決定し、時間削減を目標に効率の良い方法を模索し、完成した後、ロボットが正確に作動し得点を確実に獲得できるか否か実験で修正を行います。ロボットのイメージが確定した時にバッテリーや回路基板の設置範囲についても早めに話し合うことが大切だと分かりました。

余裕を持った計画、チームメンバーとの情報共有をすることを学び、この2つは、社会人になってからも活かすことができるため、今後の学生生活などで意識して、身に着けていきたいです。重要な時に人数が集まらないことも想定して、計画通りに実行に移せるように、次からは尽力していきたいと思います。

Bチームのロボットは主にプロジェクト学習で製作が進められました。





U-16 プログラミングコンテスト 山口大会 2024

11月23日(土・祝)に本校で「U-16プログラミングコンテスト山口大会2024」を開催しました。4年目となる今回は、過去最多の52名のエントリーがあり、競技部門・作品部門とも大変盛り上がりました。

競技部門



▲対戦の様子

作品部門



▲デモンストレーションの様子



▲参加者全員集合



▲受賞者勢ぞろい

U-16プログラミングコンテスト山口大会2024を終えて

地域共同テクノセンター長 久保田 良輔

令和6年11月23日(土・祝)、本校でU-16プログラミングコンテスト山口大会2024を開催しました。本コンテストは、パソコンやプログラミングが好きな16歳以下の児童・生徒・学生の皆さんに、ITに対する興味を深めてもらい、将来のITエンジニア養成に繋げることを目的として全国的に開催されており、山口大会は今年で4回目となります。

競技部門では、碁盤目状のフィールドで自身の駒に命令を送り対戦するプラットフォーム:「Chaser」を用いて、プログラムによる1対1の対戦を行いました。県内の中学校、高校、高専から11名が参加し、自身が作成したプログラムによってアイテムを取り合い、最後までどちらが勝利するかわからない白熱した試合が多数ありました。

優勝・準優勝はともに岩国市内の高校1年生でした。優勝した生徒は、学校内のクラブ活動で腕を磨いているとのことで、終始安定した試合運び、プログラムでした。3位は岩国市内の高校1年生と宇部市内の中学3年生でした。宇部高専からも1年生1名が参加し、健闘しました。

作品部門では、自作のプログラムやゲーム、コンピュータグラフィックスなど、自由に作成したデジタル作品を審査員がアイデア、技術力、完成度の各観点から評価します。作品部門には、県内の小学生15名、中学生21名、高専生1名の計37名が参加し、参加者は前半と後半に分かれてデモンストレーションを行いました。デモンストレーションでは、展示した自身の作品について、事前に作成した作品説明シートや資料などを使って説明したり、来場者に体験してもらったりしながら、作品の見どころや工夫した点をアピールしました。今年で4回目の開催となりましたが、年を追うごとに作品のクオリティが高くなっています。プロと遜色ないゲームや動画コンテンツ、マイクロコンピュータなどを活用した作品なども出展されました。また、テーマの幅も広がってきており、単なるゲームにとどまらず、SDGsや健康増進、地域活性化などに着眼した作品も見られました。

最優秀賞を宇部高専の1年生が受賞し、優秀賞を中学校2年生と小学校6年生がそれぞれ受賞しました。また、アイデア賞を中学生2名と小学生1名が受賞し、技術賞を中学生2名と小学生1名が受賞しました。さらに、スポンサー企業のうち11社からは、それぞれの企業名を冠した賞と副賞が授与されました。審査員特別賞には、中学校3年生が受賞しました。



各種大会優秀者の報告

高等専門学校体育大会や高等学校の大会、個人で出場した部外大会等における成績優秀者を紹介します。

大会名	種目	結果	学生氏名	学科学年
第59回全国高等専門学校体育大会兼 第59回日本高等専門学校陸上競技対校選手権大会	女子100m	優勝	下村 みのり	制御情報工学科3年
	女子200m	準優勝		
第59回全国高等専門学校体育大会兼 第47回全国高等専門学校テニス選手権大会	女子シングルス	3位	片桐 葵	物質工学科3年
	女子団体	優勝		
第59回全国高等専門学校体育大会兼 第30回全国高等専門学校水泳競技大会	女子団体	優勝	中山 彩花	物質工学科2年
	女子50m自由形	準優勝		
第31回全国高等専門学校将棋大会	女子100m背泳ぎ	準優勝	石川 万葉	電気工学科1年
	女子個人戦	準優勝		
第60回中国地区高等専門学校体育大会	バスケットボール競技女子団体	優勝	女子バスケットボール部	
	バドミントン競技男子団体	優勝		
第2回フィッシングサイト撲滅チャレンジカップ	バドミントン競技男子シングルス	優勝	杉山 稔太	機械工学科3年
	バドミントン競技男子ダブルス	優勝		
柔道競技 無差別級	バドミントン競技男子ダブルス	優勝	藤原 侑大	物質工学科3年
	柔道競技 無差別級	優勝		
第2回フィッシングサイト撲滅チャレンジカップ	柔道競技 無差別級	優勝	稻田 健太朗	経営情報学科3年
	団体	準優勝		
第2回フィッシングサイト撲滅チャレンジカップ	団体	準優勝	山口 陽奈	制御情報工学科4年
			山崎 花帆	制御情報工学科4年



▲第59回全国高等専門学校体育大会 兼
第59回日本高等専門学校陸上競技対校選手権大会



▲第2回フィッシングサイト撲滅チャレンジカップ



宇部高専意見箱

「宇部高専意見箱」を管理棟玄関前及び学生課前に設置しています。学生からだけでなく保護者の皆様からも広く意見等をお寄せいただくため、郵送でもご意見等を受け付ける体制を整えています。

この制度は、本校における運営上の課題、問題点、意見、要望、指摘等を聴取し、学校の事業・業務に反映させるとともに、学生の学校生活をより豊かにすることを目的としています。

- ・対 象：学生及び保護者等
- ・設 置 場 所：管理棟玄関前及び学生課前（図書館棟1階）
- ・郵 送 の 宛 先：「宇部高専意見箱」宛
- ・様 式：任意、差出人は匿名でも可
- ・そ の 他：差出人明記による意見等に対しては、封書で対応策を回答し、必要に応じて、意見等の概要及び回答を本校HPに掲載します。



▲学生課前（図書館1階）



▲管理棟玄関前



独立行政法人国立高等専門学校機構

宇部工業高等専門学校
National Institute of Technology (KOSEN), Ube College

ご意見・ご要望はこちら

学校だよりは、学校と保護者の皆様と連絡を密にして、学生の将来のために貢献する機関誌です。
ご意見・ご要望がございましたら遠慮なくご連絡ください。

〒755-8555 山口県宇部市常盤台2丁目14番1号

TEL (0836) 31-6111 [代表]

FAX (0836) 21-7117

<https://www.ube-k.ac.jp/>

Search the site!

宇部高専

GO



総務課総務企画係
TEL.0836-35-5037